

平成24年2月27日  
(2012年)

大阪狭山市議会議長 西野 榮 一 様

大阪狭山市議会改革特別委員会  
委員長 中井 新子

### 議会改革特別委員会第1回中間報告書

平成23年7月15日に大阪狭山市議会の活性化及び活動の透明性の向上の方策等を調査・検討し、議会の機能を充実・強化することを目的として、本特別委員会が設置され、今日まで8回にわたり調査・検討を進めてまいりました。

つきましては、本委員会での調査検討結果等について、大阪狭山市議会会議規則第45条第2項の規定により、下記のとおり中間報告をいたします。

なお、本特別委員会で結論を得た事項については、これを実現されるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 経過

平成23年5月1日からの大阪狭山市議会議員一般選挙後の新たな体制により、議会改革特別委員会が設置され、本特別委員会の目的を達成するため、①チェック機能の強化、②議会運営のあり方、③透明性のある開かれた議会のあり方、④専門的知見の活用、⑤その他議会の活性化に関する調査・検討を行うことといたしました。

議会改革特別委員会の設置の背景には、地域主権の進展に伴い、市民の議会への関心の高まりとともに、今後の議会力が問われるといったような現在の状況を踏まえ、市民の負託に的確に応えられるよう、全力で取り組んでいかなければならないといった状況があります。

市民の負託に応え、改革を進めていくには、広範多岐にわたる課題を検討していく必要があります。

本特別委員会では、まず、調査・検討する個別課題の協議、優先順位の設定等を行うことといたしました。

そして、優先して調査・検討していく課題を、①チェック機能の強化に関しては、議会における行政評価・事務事業評価、付帯決議等を行うこと、②議会運営のあり方に関しては、議員同士の討議の場、通年議会、議案に対する討論のあり方について、③透明性のある開かれた議会のあり方に関しては、議会だよりの充実、議会として議会報告会を開催することについて、④専門的知見の活用に関しては、議員の学習会・研修会の開催についての各項目に絞り込みました。

また、これらの調査・検討と並行して、昨年から試行的に実施してきた一問一答制や議会傍聴呼びかけ活動及び議員の議案に対する賛否の公表についても、反省点などを検証することといたしました。

本特別委員会では、以上のことを踏まえ、8回にわたり調査・検討を進めてきました。

## 2. 調査・検討結果

### (1) 一問一答制について

一問一答制については、昨年3月議会から試行として始まったばかりであり、これについてまだ反省点の洗い出しも含め、検証がなされていないため、本特別委員会で、引き続き調査・検討を行いました。

その結果、一問一答制については、現在の試行を継続実施し、引き続き検証していくことといたしました。

### (2) 議会傍聴呼びかけ活動について

議会傍聴呼びかけ活動については、議会傍聴呼びかけ隊として昨年3月議会と6月議会の2回実施しましたが、更に多くの市民に知っていただく機会を持つべきとの観点から調査・検討を行いました。

その結果、同じ場所だけではなく、場所も変えて、継続して実施していくことといたしました。

なお、議会傍聴呼びかけ活動については、昨年9月議会、12月議会においても実施し、今期3月議会以降も継続して実施することといたしました。

### (3) 議員の議案に対する賛否の公表について

議会に提出された議案等の採決にかかる議員の賛否の状況については、昨年第1回定例会から公表していますが、現在、賛成（○）、反対（×）、継続審査（△）の公表しかされていません。

この賛否の状況の公表については、なぜ賛成したか、なぜ反対をしたか、なぜ継続審査なのかということの説明できるように改善していく必要があるのではないかと認識を踏まえ、今後、議員の採決の公表についてどのように取り扱っていくかについて調査・検討を行いました。

その結果、議員の賛否の公表については、市民によりわかりやすい公表に向けて、議会だより及び議会ホームページで継続して実施していくことといたしました。

### (4) 行政評価・事務事業評価を議会が行うことについて

本特別委員会では、行政評価・事務事業評価を議会が実施していくとの一致した認識のもと、どのような事業を対象にするのかといったことや、評価の方法、事務事業評価を予算に反映するための方策等について調査・検討を行いました。

その結果、行政評価・事務事業評価を議会が行うことについては、行政側との調整も必要となりますが、評価対象事務事業をピックアップして資料提出してもらって評価を実施することとし、常任委員会で評価するのか議員全員で評価するのかといったことや、評価項目の抽出方法、評価方法、実施時期等については、引き続き調査・検討していくことといたしました。

### (5) 議員同士の討議の場について

本特別委員会では、議員全員が活発に意見を出し合える討議の場を試験的に設けるなど、自由討議を進めていくに当たって、自由討議のあり方・方向性を調査・検討いたしました。

その結果、議員間の論点整理のため、常任委員会で付託された案件について委員長の権限で自由討議を行うことや、議員全員協議会などを活用して必要に応じて開催することといたしました。

(6) 議員の学習会・研修会の開催について

本特別委員会主催による研修会を実施するという事で意見が一致したため、平成23年12月19日に研修会を開催しました。

当日は、一般社団法人 日本経営協会 専任講師の、田鹿 俊弘氏をお招きし、『地方議員のための議会改革研修』と題して「地方議会の位置付けと役割」、「分権時代の地方議会」、「地方議会の改革の動き」などを中心に講演をいただき、議会改革への認識を深めるとともに、講演終了後は自由に活発な意見交換等を行いました。

本特別委員会では、今後も専門的知見を活用するという意味において、定期的に議員研修会を実施していくことといたしました。

3. 終わりに

今回、本特別委員会の委員全員が一致して結論を得た事項について取りまとめ、中間報告としましたが、個別具体的な取り組みにつきましては、引き続き検討する必要があります。

なお、通年議会に関する事、議会報告会の開催に関する事、決算委員会に関する事、その他優先課題とした項目については、今後、さらに議論を深め、引き続き調査・検討に取り組みます。

## 議会改革特別委員会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 会 派
委員長	中 井 新 子	フロンティアネット
副委員長	山 本 尚 生	政 友 会
委 員	片 岡 由 利 子	公 明 党
委 員	諏 訪 久 義	新 風 会
委 員	鳥 山 健	みらい創新
委 員	松 尾 巧	日本共産党議員団
委 員	丸 山 高 廣	フロンティアネット